



広報紙をさかさにして
タイトルを見てみてね!

県広報 とやま

1

2019 JANUARY
NO.484

題字：野村 暲



「とやま土人形伝承会」の皆さん。制作活動とともに、とやま土人形工房で絵付け体験の講師も務める。右から4人目が第1期生の石黒共子さん

新しい時代でも変わらない 素朴なぬくもりや愛らしさを

——「とやま土人形伝承会」(富山市)



絵付けは一つひとつ繊細なタッチ 同じ「亥」の土鈴でもデザインはさまざま

一面に並んだ今年の干支「亥」の土鈴に、目も心も奪われます。黙々と一つひとつ、真心を込めて作るのは、「とやま土人形伝承会」の皆さん。富山市民俗民芸村の工房から生まれる干支の土鈴や「天神様」、桃の節句の「抱き雛」など、季節の移ろいにあわせた作品が多くの人を魅了しています。

とやまの土人形づくりは、嘉永年間(1848〜54)に始まったとされます。しかし、かつては担い手不足が深刻でした。消滅の危機もあった昭和58年、富山市では最後の職人となった渡辺信秀氏から技を受け継ぐ人を募り、会を結成。当時を「ふるさとの伝統を絶やしたくない。そんな気持ちでした」と振り返る石黒共子さん。第1期生の一人でした。

現在、第11期生を迎え、会員も25名に。これまでに伊・ミラノトリエンナーレなど海外の美術展にも出展。ここ数年は、大手雑貨ブランドが全国の縁起物を入れて正月に発売する「福缶」の景品にも選ばれるなど、創作の幅を広げています。平成29年度に県の「明日のとやまブランド」に選定。30年には、日本郵便の年賀郵便切手のデザインに採用され、全国に新春の慶びを届けました。

平成から新しい時代へ。「伝統を守り楽しみながら、新しいものにも目を向けていきたい」。土人形づくりの未来を、たくさんの仲間たちが思い描いています。

「とやま土人形工房」
https://www.city.toyama.toyama.jp/
etc/minzokumingei/tuti/tuti.html



かまぼこで“インスタ映え”?!一段上のお弁当づくり

とやま
Made in Toyama
物語



かわいく彩られたお弁当、「キャラ弁」をもっと楽しんで作ってみたい。生地蒲鉾(有)では、本県産の巻かまぼこの色の付いた部分、いわゆる“皮と呼ばれる部分だけを商品にした「ととしーと」を開発。きっかけは、お弁当用にこの水色の部分だけあれば、という県外出身の女性からの要望だった。「そんな使い方もあるの?」と社長の中陳さんは驚いたそうだが、「ととしーと」を使ったお弁当の写真がInstagramに掲載されると人気はあつという間に広がり、全国の“お弁当作家”の強い味方に。「富山のかまぼこを知ってもらおうチャンス」(社長)になった。ヒットのヒントは意外なところから。

リボンや花、顔のパーツが「ととしーと」。丸めたり、切りぬいたり、結んだり自在に形を変えられるのが魅力。8色セット800円(バラだと1枚120円)。同社ホームページ、楽天市場で購入できる。

生地蒲鉾株式会社(黒部市)
代表取締役
なかじん しんぺい
中陳新平 さん



元気いっぱい!

とやま にぎやかファミリー

入坂さんご一家
(富山市)



パパママコメント

山あり谷あり笑顔あり〜♪
『当たり前』の日常が、我が家の最高の幸せです。

前田さんご一家
(高岡市)



パパママコメント

子供たちにも原動力をもらっています。ありがとう。
たくましく育ってほしいです。

* 第4子以上のお子さんが生まれたご家庭をご紹介します *



特集

黒部ルートの一
般開放・
旅行商品化が
決定!

「立山黒部」の世界ブランド化の 実現を目指して



日本でも類を見ない「自然環境」と、先人が造り上げた電源開発や砂防事業などの「産業・防災」、立山信仰に見られる「歴史・文化」が一体となった、富山県が誇る「立山黒部」。こうした多彩な魅力を活かし、磨き上げ、結びつけることで世界の名だたる観光地に匹敵する「世界ブランド」としてさらなる高みを目指します。

「立山黒部」の魅力

「立山黒部」は、3,000メートル級の立山連峰や日本一のV字峽である黒部峡谷などの雄大な自然環境に、ライチョウをはじめとする貴重で多様な動植物が生息し、間近に見える富山湾の美しさも併せ持った世界的な山岳観光地です。また、世界文化遺産登録に向け取り組んでいる「立山砂防」や、江戸時代の立山信仰儀式の象徴の一つ「布橋灌頂会」などの観光資源にあふれ、さらに飛躍が期待できる地域でもあります。

一方、訪日観光客や国内の個人旅行者の増加、北陸新幹線の開業による首都圏とのアクセスの劇的な改善などによって、「立山黒部」を取り巻く情勢は大きく変化しています。県では、旅行者の多様なニーズに応えられるよう、「立山黒部」における観光をできるだけ「通過型」から「体験型・滞在型」



雪の大谷



ライチョウ

の観光に改め、「本物の価値・魅力」をご堪能いただけるよう取り組む必要があると考えています。

「立山黒部」世界ブランド化推進会議の設置

そこで県では、平成29年6月に「立山黒部」世界ブランド化推進会議」を設置し、世界ブランド化に向けた28のプロジェクトについて、環境保全と観光振興を両立させながら、その実現に向け取り組みを進めています。



「立山黒部」世界ブランド化 主なプロジェクト

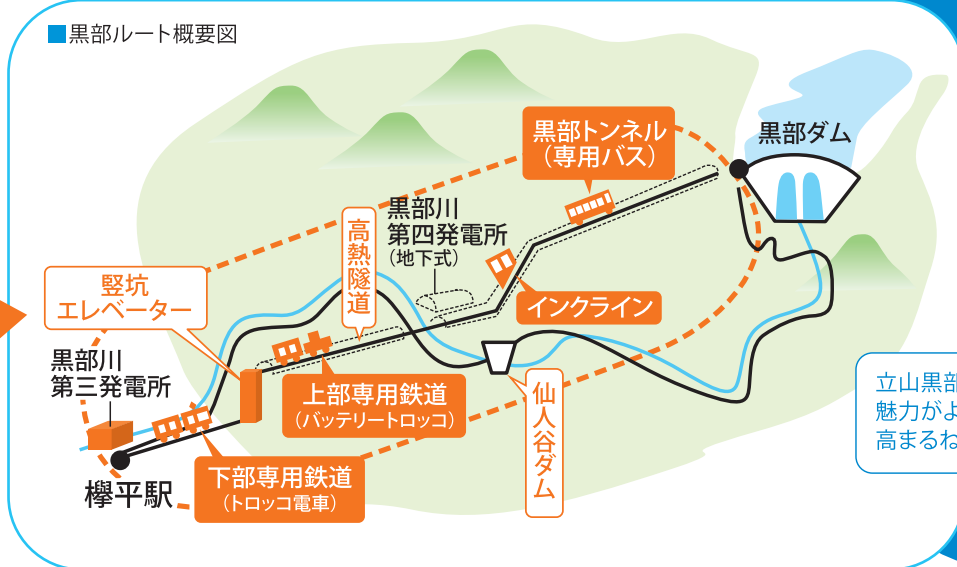
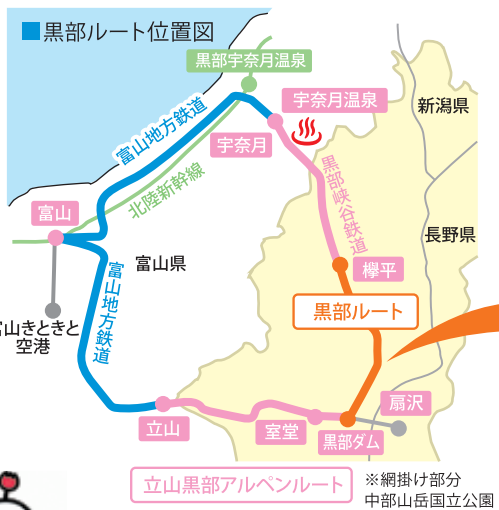
- 黒部ルート的一般開放・旅行商品化
- 立山～弥陀ヶ原ロープウェイ
- 滞在プログラムの充実
(専門ガイドによるエコツアーの造成等)
- とやまのライチョウサポート強化、
生息状況調査
- 登山道、山岳トイレの整備
- 携帯電話不通エリア、
Wi-Fi未整備エリアの解消
- 火山対策

黒部ルートの一 般開放・旅行商品化

プロジェクトの大きなテーマの一つである「黒部ルートの一一般開放・旅行商品化」については、関係の皆さんのご協力をいただき、関西電力株式会社と粘り強く協議を重ねた結果、昨年10月に協定を締結することができました。



協定式の様子(H30.10.17)



立山黒部の魅力がより高まるね!

これにより、安全対策工事の完了後となる2024年度から、年間最大1万人の利用が実現し、現在の公募見学会の年間約2千人に

選ばれ続ける観光地へ

県ではこのほか、立山ケーブルカーの現状を踏まえたロープウェイ整備等の調査検討、さまざまなおニーズに対応する多様な宿泊施設の整備に関する検討、専門ガイドによるエコツアー造成などの滞在環境の充実等も進めています。

また、登山道の整備やライチョウサポート活動の実施など、自然環境の保全も引き続きしっかりと取り組んでまいります。

県民の皆さんが大切に受け継いできた貴重な財産「立山黒部」。その価値を守りながら、さまざまな魅力を世界中に伝えていきます。そして、国内外から多くの観光客に訪れていただき、選ばれ続ける観光地となるよう、努力を続けてまいります。



上部専用鉄道



黒部ルート(タル沢横坑)から見える剣岳



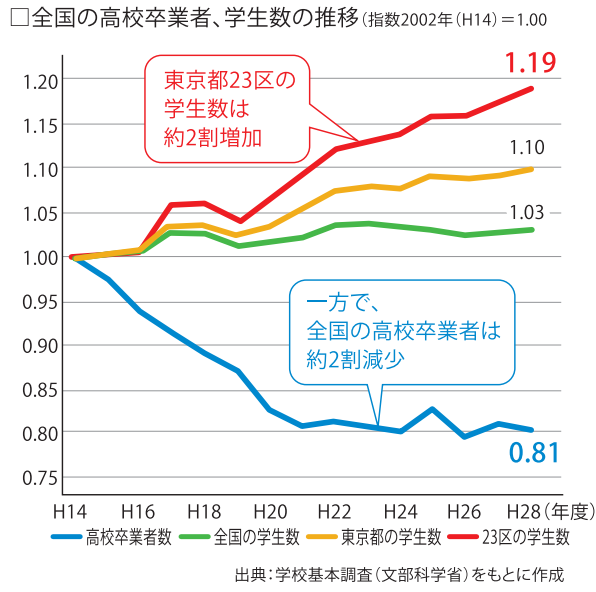
黒部川第四発電所

なお、これまで平日のみ実施していた公募見学会を拡充し、2019年度は新たに土日祝日にも4日間実施しますので、ぜひ足をお運びください。

比べて大幅に拡大されます。また、立山黒部アルペンルートと黒部峡谷を周遊できるようになり、原生の自然に触れ、黒部川の電源開発の歴史を安全に体感し学べる貴重な産業観光ルートとなります。多くの県民の皆さんの長年の夢や希望の実現に向け、大きな前進となりました。



地方の人口が本格的に減少するなか、富山県では子育て支援、移住・U・I・ターンなど幅広い施策が人口減少の緩和に一定の効果をもたらしています。しかし、さらに東京圏などから若い世代の流入を加速させ、それを受け入れる産業を活性化させる必要があります。県では、大学を核に産学官が連携した新たなプロジェクトを始めます。



とやま未来創生産学官連携推進会議の設置

全国から東京圏への人口の転入超過は近年12万人規模で続き、人口の東京一極集中に歯止めがかかっていません。その中心は、進学時、就職時の若者です。

県では、昨年の3月、県内の産業界や大学と「とやま未来創生産学官連携推進会議」を設置しました。日本海側随一のものづくり県である本県の、中核的産業である「医薬品」と「アルミ」の分野で先進的なプロジェクトに

取り組むことで、若者に魅力的な学びを提供する県内大学の振興や、地域産業の力強い発展とその担い手確保・育成に努めていきます。

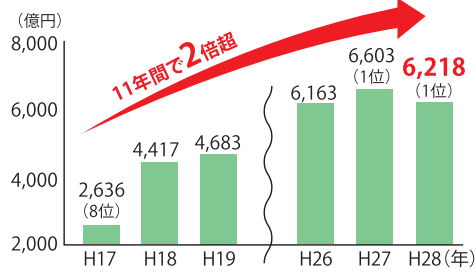
医薬品産業1兆円へ

本県の医薬品産業は、生産金額が2年連続全国1位(H27・28)になるなど、全国トップクラスの医薬品生産拠点となっています。

今年の6月、さらなる振興のため推進会議のもとに立ち上げたのが「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムです。県内製薬企業や富山大学、富山県立大学等と連携し、東京圏の学生を対象にしたサマースクールを実施するほか、「世界の薬都」スイス・バーゼル地域など国内外から研究者を招き、新たな製剤技術を活用した医薬品など、世界水準の研究開発を進めていきます。

このプロジェクトは国にもその内容が高く評価され、産学官による最先端の研究開発などを対象に新設された「地方大学・地域産業創生交付金」の配分先に全国で採択されたわずか7件の1つとして選ばれました。医薬品生

□富山県の医薬品生産金額の推移



東京圏の学生を対象に開催したサマースクール(県薬事総合研究開発センターでの実習)

2 特集

産学官が連携した未来創生プロジェクト

とやま未来創生！ 大学と地域産業の振興と連携



創薬研究開発センター(H30.5.24開所)

本県の豊富な水と安価な電力を背景として、地域の基幹産業として栄えてきたのがアルミ産業です。こちらも昨年5月に「とやまアルミニ

アルミの新しい可能性を生み出す

【製剤・DDS※】ナノリポソーム製剤による、注射剤から点眼剤への変更や少ない量の薬剤を患部に効率的に届けるなどの新製剤技術の開発など

※DDS：ドラッグデリバリーシステム(Drug Delivery System)

薬物を患部に集中的に届けるなど、薬物の組織への送達を制御するための技術

【創薬(免疫学)】鼻から投与するワクチンの実用化とインフルエンザ等のウイルス感染の予防に向けた研究など

産金額1兆円を目指して付加価値の高い製品開発など、研究開発の推進による医薬品産業の振興を図るとともに、全国の優秀な学生が本県で学び、本県で医薬品産業を支える人材として活躍できるよう取り組みます。

さらなる飛躍に向けて

これらの先端的なプロジェクトの実現は、活力と魅力にあふれた「とやま新時代」への起爆剤となります。地方創生のフロントランナーとして、誰もが将来への夢と希望を持っていきいきと働き、豊かで暮らしやすい県づくりを、県民の皆さんの知恵とパワーを結集しながら、今後とも力強く進めてまいります。

本庶佑教授が特別顧問に!

とやま未来創生産学官連携推進会議では、昨年12月にノーベル生理学・医学賞を受賞された京都大特別教授の本庶佑先生を、特別顧問としてお迎えすることとしています。本県の医薬品産業のさらなる発展に向け、ご指導やご助言をいただきます。



県政 Q&A

県政に関する質問に知事が答えます!

Q

県では、雪に強いまちづくりのため、どのような取組みを進めているのか、お聞かせください。

A

2018年の冬は大変多くの降雪があり、県内でも道路の渋滞の発生や公共交通機関の遅延など、県民の皆さんの生活に大きな影響が及びました。そこで県では、実態の検証と対策に速やかに着手しました。その結果、この冬に向けては道路情報収集・提供のための監視カメラの増設や車両立ち往生等の発生しやすい危険箇所を新たに追加したマップの作成、除雪機械の増強、あいの風とやま鉄道の雪への安全対策等への支援の拡充や小・中学生用の「とやま防災ハン

ドブック」の改訂など、関係機関の協力も得て、対策を迅速に進めたところです。

また、新たな取組みとして、大雪の恐れがある場合に富山地方気象台職員を県へ一定期間派遣していただいたり、屋根の雪下ろしのタイミングの参考となる情報を伝えるシステム「雪おろしグナル」を導入したところです。

県民の皆さんが安心して冬を過ごせるよう、今後とも市町村や関係機関とも連携しながら、雪対策に万全を期してまいります。

◎この件のお問合せは…県 県民生活課 TEL.076-444-3126

詳しくは 富山県県民生活課 検索

皆さんのご意見をお待ちしています。
「元氣とやま目安箱(知事への意見・提言)」係まで

●はがき・手紙：〒930-8501 県庁広報課 ●FAX.076-444-3478
●インターネット：元氣とやま目安箱 検索

● 県内おでかけ情報 ●

料金の()内は20名以上の団体料金



高志の国文学館 高校生以下無料

北の命の物語展 倉本聰と点描画

期間 開催中～3月4日(月)
 時間 9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)
 休館日 火曜日
 料金 一般500円(400円) 大学生250円(200円)

ドラマ「北の国から」など数多くの名作を世に送り続ける脚本家の倉本聰。ここでは彼がライフワークとして、樹と対話するように描いた点描画約100点とドラマ制作の関連資料を展示します。



◎富山市舟橋南町2-22 TEL.076-431-5492

富山運河環水公園

環水公園ウインターファンタジア

期間 2月9日(土)、22日(金)～24日(日)
 時間 9日 15:00～20:00(花火は18:30～) 22～24日 15:00～19:00

光や音楽による冬の祭典!2月9日(土)には、「環水ミュージック花火」を実施します。音楽に合わせて1,000発以上の花火が打ち上がり、園内のイルミネーションとともに水辺空間を美しく彩ります。バレンタインスペシャルライブやワークショップ、移動販売車など大人から子どもまで楽しめる企画が盛りだくさん。



[雨天決行]強風による中止の場合あり

◎富山市湊入船町 (問合せ先 県観光振興室 TEL.076-444-4116)

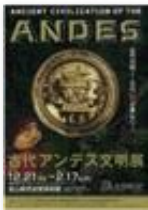
富山県民会館

古代アンデス文明展

期間 開催中～2月17日(日)
 時間 平日 9:00～16:30 土日祝 9:00～17:00 (最終入場は閉館30分前)
 料金 一般・大学生1,500円(1,300円) 小中高生1,000円(800円)

アンデスに人類が到達した先史時代から、スペイン人によるインカ帝国征服までの約1500年の間に生まれた代表的な9つの文化を、約200点の選り抜かれた貴重な資料で紹介。富山では初展示となる資料にもご期待ください!

◎富山市新総曲輪4-18 TEL.076-432-3111



こどもみらい館 無料

時間 9:00～17:00 (休館日) 火曜日、祝日の翌日

こども歳時記「節分」

期間 開催中～2月3日(日) 受付10:00～16:00
 料金 材料代50～100円

おにマスク、おにパックン、ユラユラおにを作ります。

わくわくステージ

期間 1月20日(日) 時間 14:00～15:00
 出演 人形劇団クラルテ 内容 人形劇

かえっこバザール

期間 1月26日(土)、27日(日)
 時間 12:30～17:00(受付16:30まで)

いらなくなったおもちゃを持ち寄り、ポイントにかけて、そのポイントを使っておもちゃをゲット! このほか、楽しいイベントを多数開催します。

◎射水市黒河4774-6 県民公園大岡山ランド内 TEL.0766-56-9000

● 県政の動き ●

- | | |
|---|--|
| <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 平成30年度富山県功労表彰式 3 ねんりんピック富山2018(～6日) 5 平成30年秋の叙勲伝達式 26 県議会定例会(～12月12日) <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 14 「高校生とやま県議会」本会議 とやま健康経営シンポジウム2018 18 「とやまの未来創造」を考えるシンポジウム 19 県政ふれあいトーク(小矢部市) 22 環水公園スイートクリスマス2018 | <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 30 とやままでどーんと大同窓会 <p>今後の予定</p> <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> 16 とやま煌めく女性シンポジウム <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> 2 平成31年「北方領土の日」記念大会 越中とやま食の王国フェスタ2019 ～冬の陣～ |
|---|--|

● TOPICS ●

地下水位大幅低下時に注意報/警報を発令!

冬は降雪設備の一斉稼働により、地下水位が大幅に低下し、一時的に井戸が涸れたり降雪設備が停止したりするおそれがあります。県では今冬から、特に水位の低下が著しい富山市内と高岡市内で、水位が大幅に低下した際に注意報/警報を発令します(県ホームページ等でお知らせ)。発令時には、地下水の節水にご協力をお願いします。



降雪設備の節水技術体験 (とやまふるさと環境保全事業※) ※この事業は全国モーターボート競走施行者協議会の拠出金を受けて昨年10月に実施したものです。

◎地下水位情報など詳しくは
 ◎問合せ先 県環境保全課 TEL.076-444-3144

風しんは予防接種で防ぐことができます!

昨年後半から、風しん患者の報告数が急増しています。妊娠を希望する女性や妊婦の周囲の方は予防接種をご検討ください。県では次の条件を満たす方を対象に無料の抗体検査を行っています。

- ① 妊娠を希望する女性
- ② 妊娠を希望する女性のパートナー
- ③ 風しん抗体価が低かった妊婦のパートナー

◎問合せ先 県健康課 TEL.076-444-4513

宝くじは県内でお買い求めください! インターネット販売も開始!

宝くじの収益金は、県や市町村が行う事業に幅広く活用されています。バレンタインジャンボなどが1月30日(水)から発売されますのでぜひこの機会にご購入ください。

◎問合せ先 県財政課 TEL.076-444-3167

● 県政クイズ ●

○の中に言葉を入れてください。
 富山県は「立山黒部」の
 世界○○○○化を目指しています。
 (ヒントは「特集1」にあります。)

正解者の中から5名の方に
 「富山湾鮭クーポン券
 (3,500円×2枚)」を
 プレゼント。



はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、性別と本紙の感想を必ず記載し、下記まで。当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。※ご記入いただいた個人情報は、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計とプレゼント発送にのみ利用します。

宛先/〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま1月号クイズ係」 締切/2月1日(金)必着

◎前回(10月号)の答え…ねんりんピック富山は「27」種目応募総数956人 正解者数950人 たくさんのご応募ありがとうございました。

「富山湾鮭」について詳しくは



● 手話で話そう ●

昨年4月1日に富山県手話言語条例が施行されました。手話であいさつしてみましょう。

「こんばんは」

(「夜・暗い」と「あいさつ」で表現します)



- ① 「夜・暗い」の手話表現 前に向けた両手のひらを目の前で交差させる。
- ② 「あいさつ」の手話表現 立てた両手の人差し指を向かい合わせ、胸の前に置き、第2関節から曲げる。

● 元気レシピ ●

ヤーコンの唐揚げ



中南米アンデス地方原産で、近年、豊富な栄養成分から注目されるヤーコン。ミネラルやオリゴ糖を豊富に含んでいます。秋に収穫し、熟成させた冬が食べごろ。さくさくした食感に香ばしさがたまらないヘルシーな一品です。 ※ヤーコンのかわりにレンコンやだいこんで作っても美味しくできます。

【材料・分量(4人分)】 1人分/約108kcal

- ヤーコン…1本(150g)、ごぼう…1/2本、にんじん…1/2本
- 揚げ油…適量、小麦粉…大さじ3、片栗粉…適量
- A [しょうゆ…大さじ2、酒…小さじ1、おろしにんにく…1cm]
- おろししょうが…1cm
- ミニトマト、パプリカ(黄)、プチヴェール…適量

作り方 ①ヤーコンは皮をむき、長さ7～8cm、幅1cmに切り水にさらす。にんじんも皮をむき、大きさをそろえる。②ごぼうは皮をこそげとり、長さ7～8cmに切り4つ割りにし水にさらしておく。③ビニール袋にAの調味料を入れ、①②を加えて下味をつける。④③に小麦粉を加えて全体に混ぜ、片栗粉をまぶす。⑤フライパンに油を熱し、④をカリッとするまで揚げる。⑥ミニトマト、パプリカ、プチヴェールを添えて盛り付ける。

(協力)入善町食生活改善推進協議会

富山県では、健康寿命日本一を目指しています。健康寿命をのばすため、正しい生活習慣、食習慣を心がけましょう。詳しくは

◆ 県広報とやまに関するご連絡、ご質問はこちら

〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課あて
 TEL.076-444-3134 FAX.076-444-3478
 E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください
<http://www.pref.toyama.jp/form.html>

本号とバックナンバーは、広報課のホームページで閲覧できます。

◎「県広報とやま」には点字版と音声版もございます。左記までお問合せのうえ、ぜひご利用ください。

平成31年1月13日発行 企画・発行 富山県経営管理部広報課(富山市新総曲輪1-7) 編集協力(株)チューエツ
 ※「県広報とやま」は環境に配慮し、植物性大豆油インキと再生紙を使用しています。※下記の広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。なお、広告の掲載については、(株)ウィット(TEL.072-668-3275)までお問い合わせください。

「富山県広報課」公式SNS
 県政やイベントの情報などを発信しています。

無料アプリで「県広報とやま」を配信しています。